

板橋交通公園のリニューアルに向けた基本構想(素案)

板橋公園基本構想 再整備のコンセプト【案】

「交通と交流、みどり」をキーワードに、以下のようなテーマを設定します。

テーマ①【交通】

散歩からスマートモビリティまで、移動を楽しむ交通公園

- 学びの場としての交通公園機能（自転車の練習や交通ルールの学習）は継承していきます。さらに、これからの交通には、だれもが安心して移動できるまちづくりも必要です。そこで、次世代の交通公園として、スマートモビリティなどの新しい乗り物による移動体験も取り入れ、新しいまちづくりを発信していきます。
- また、交通や乗り物をテーマにしたデザインで公園全体をまとめ、楽しく統一感のある環境をつくります。
- さらに、乗り物だけでなく、散歩やジョギングも楽しくなるように、回遊する園路をつくります。

テーマ②【交流】

だれもが、多様な楽しみ方ができ、交流が生まれる公園

- 現状では、ラジオ体操や、保育園の散歩、放課後の子供たち、休日の家族連れなど、日常的に様々な利用がされている他、お祭りなどの賑わいを通じて人々が交流しています。
- さらに多様な使い方ができるよう、子どもや高齢者、何らかの障がいがある方、外国の方など、だれもが利用しやすい空間を整備し、静かに憩える場所や自由な楽しみ方ができる広場などをつくります。
- また、飲食が楽しめる新たなサービスの導入を検討し、公園の楽しみ方を増やします。
- 他にも、イベントなどにも利用できるように集会施設を使いやすくするなど、区民活動の場を広げ、新たな交流とふれあいの機会を生み出します。

テーマ③【みどり】

みどりと花と交通が溶け合う風景を、区民と共につくる公園

- 板橋公園のシンボルともいえるメタセコイアや、ケヤキなどの大きな樹木は残します。
- 低木や中木の一部は見通しをよくするため整理し、花の咲く草花などを多く取り入れます。
- みどりの中で乗り物に乗ったり、散策したり、静かに読書をしたりと、季節の移ろいが感じられる、いやしの空間をつくります。
- 公園の管理では、現状でもすでに地域の方々のご協力を得ていますが、さらに区民参加による花づくりなど、楽しみながら風景を育てていく仕組みをつくります。

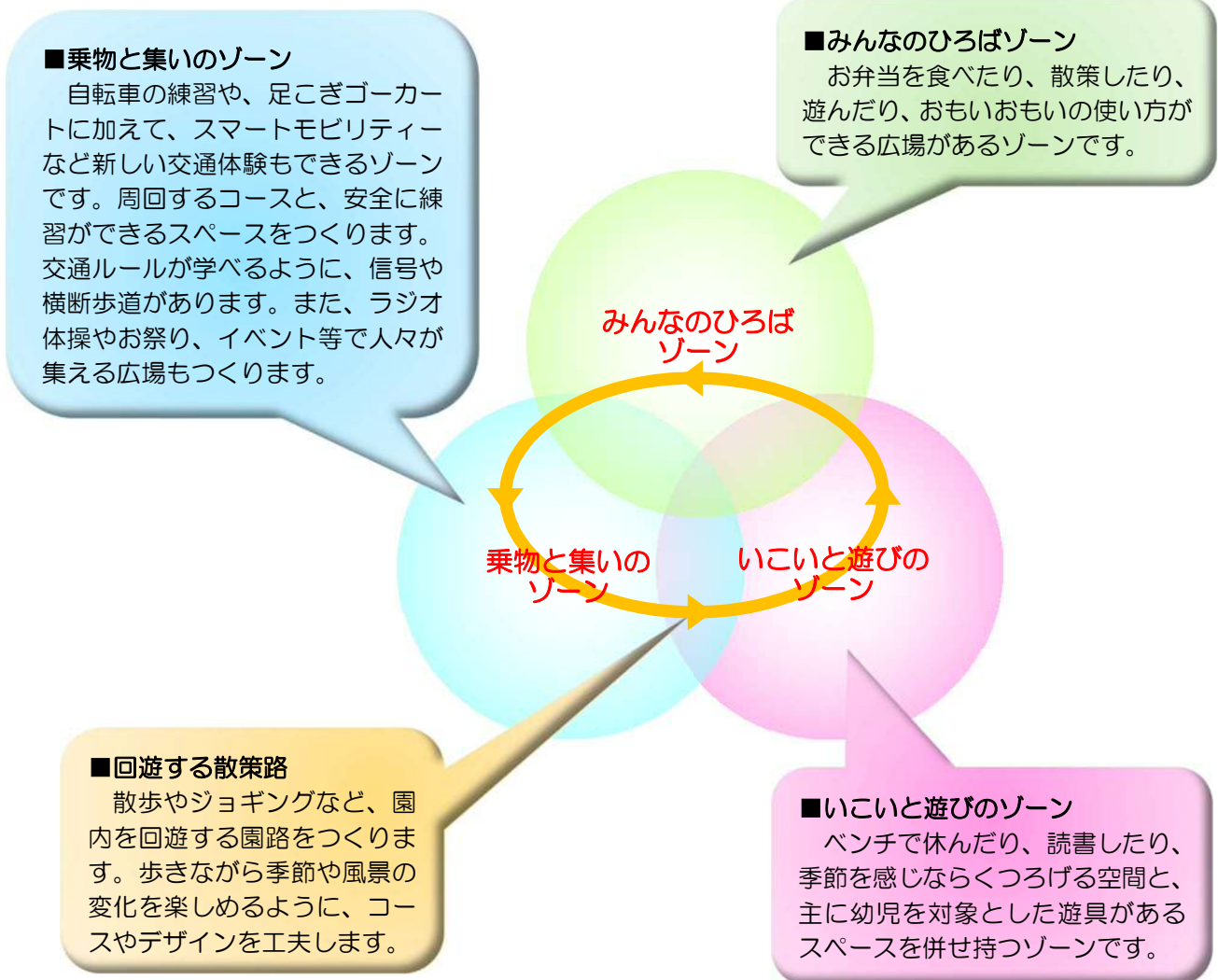
上記のテーマを実現するため、周辺地域と連携していきます。

板橋公園が、だれもが安心して移動できるまちづくりの拠点となるように、公園の再整備・管理運営にあたっては、周辺の保育園、小中学校、高齢者施設、集合住宅、商店など、地域の方々との連携を図っていきます。

板橋公園基本構想 ゾーニングイメージ【案】

コンセプトを実現させるため、使い方に合わせたゾーンをつくります。各ゾーンの配置と詳細は、今後計画を進める中で決めていきます。

【ゾーニングイメージ】



以下は、今後計画を進めていく中で具体的な配置や内容を検討していきます。

●飲食・物販サービス施設

常設、期間限定、移動販売など、可能性を探ります。

●集会所・コミュニティルーム

現在の集会所機能を残しながら、区民活動やイベント、講習会などに幅広く利用のできるコミュニティルームを検討します。

●花とみどりの空間

季節や風景の変化を感じられるように、植栽の種類や配置を工夫します。
区民が楽しく参加できるような、花の風景づくりの仕掛けを考えます。

●その他

- ・水遊び施設
- ・防災施設
- ・管理事務所など
- ・トイレや水飲み等の便益施設
- ・駐輪場
- ・シェアサイクルポート など